

ゆび募金 だより



No.

7

会報 第7号



有限会社 クリーン薬局

薬局のご紹介

当薬局は平成 2 年に設立した薬局です。

設立当初は近隣医院からの処方箋が多かったのですが、設立から 3～5 年後に広域病院の院外処方箋化が進み、今では月間処方箋受付機関が 100 を超えるほどになりました。

また、地域薬剤師会活動（休日診療・学校薬剤師等）にも積極的に参加しています。

これからも当薬局の企業理念である「人々が健康な生活を送るため、保健・医療・福祉を通じて貢献する」をもとに、地域密着型のかかりつけ薬局を続けたいと思っています。



有限会社クリーン薬局
【代表取締役】伊佐間 茂樹（薬剤師）
【所在地】東京都立川市栄町 2-59-19

ゆび募金への参加の理由

ボランティアの気持ちはあるが、なかなかする機会がない人でも、簡単にできる手助けだと思い参加しました。

最近ではドリンクを買いに来る方も増え、「これで私も募金しているんだよね」と笑顔で話していただける方もいます。

寄付先を選んだ理由（世界の子どもにワクチンを 日本委員会）

当薬局は以前より、ペットボトルのキャップによる「世界の子どもにワクチンを」活動を支援しており、新たな寄付機会を提供するため選定しました。

日本は平和な国ですが、今でも戦争をしている国もあります。食べ物も満足に食べられない子どもたち、病気で苦しんでいる人たちに少しでも力になればと思います。

企業 C S R 活動

厚生労働省 国家公安委員会 指定法人

公益財団法人 日本補助犬協会



JK Report

寄付先の活動を知ろう！

補助犬とは・・・？

補助犬とは、盲導犬、介助犬、聴導犬の総称です。

日本補助犬協会は、平成 14 年に「身体障害者補助犬法」が施行されたのを機に設立されました。

日本で唯一 3 種類の補助犬の育成と認定ができる団体です。そしていまだ充分とはいえない補助犬の認知度を高めることを使命とし、その周知徹底に努めています。

一頭の犬が補助犬として社会で障害を持つ方々の生活をサポートし、リタイアするまでの生涯は、多くの人々によって支えられています。皆様のご支援・ご協力をお待ちしております。

新しい訓練所ができました！

「ほじょけんランドを造ろう」プロジェクト第 2 弾として、多くの方々のご支援により、平成 24 年秋、横浜市内に新しい訓練所がプレオープンいたしました。

新しい訓練所では、平成 25 年から 7 ヶ年計画で、年間 25 頭の補助犬育成を目指します。第 3 弾では、外構え、ドッグランを整備し、補助犬やパピー、引退犬や繁殖犬が家族と一緒に遊びに来て走り回れるような場所を作っていきます！

今年 8 月に行われた新訓練所のオープンデー（一般見学会）

< 実演の様子 >
↓ 聴導犬が目覚ましの音で起こします



補助犬たちとのふれあいコーナー↑

【設 立】平成 14 年

【代 表】理事長 新井 敏之

東京都手をつなぐ親の会 (社会福祉法人 東京都知的障害者育成会)

【設 立】昭和 36 年

【代 表】理事長 上原 明子

3 人の母親から始まった運動

東京都手をつなぐ親の会（社会福祉法人 東京都知的障害者育成会）は、知的障害がある子どもの親たちの願いにより、知的障害児者の福祉・教育・労働・医療等の制度や施策の向上を図るために、東京都内各地域に発足した親の会の連合体として昭和 36 年 10 月に創立されました。その後、社団法人、社会福祉法人の認可を経て、作業所や区立施設の運営受託など事業を展開してきました。

現在、区市町村の親の会や特別支援学校や障害者支援施設の親の会などの各支部で構成され、正会員約 12,600 名、賛助会員約 900 名となっています。また事業展開は、法人直営施設や都区市からの受託施設等合わせて約 60 事業所、また知的障害者の自立生活を支援するグループホーム 130 カ所を運営しています。

運動と事業展開

昭和 47 年に、教育の権利を守るために、「全員就学」の要望書を東京都教育委員会に提出し、運動の甲斐あって、2 年後には東京都障害児の希望者全員就学が始まりました。昭和 52 年には、自立生活を支援する生活寮を開所。昭和 61 年には、生活の豊かさの拡がりを目指して、「働く青年の旅」を開始させ、その事業は今なお続いています。平成 8 年には、身近な地で安心した生活が出来るように、24 時間支援施設を開所し、今は都内 3 カ所となっています。

これまでも、これからも

東京都手をつなぐ親の会は、障害のある人一人ひとりの人権と意思を尊重し、彼らが主体性をもって生活や活動をしなが、社会・経済・文化ほかあらゆる分野へ参加できるように、関係機関や地域と手を組んで支援をしていきます。笑顔の輪が 1 つでも増えて、そしてその輪が大きく広がることを願って・・・

(受託経営施設)
世田谷区立障害者就労支援センター すきっぷ



さまざまなプログラムによる就労準備訓練により 2 年間で就職を目指す施設です。通所者及び相談者の就労支援や職場定着支援を行うことで、社会参加と自立の促進を図っています。



作業訓練
(印刷)



生活学習
(調理)

東日本大震災 広域避難者支援基金

ジャパン・カインドネス協会では、いまだ 29 万人に及び方々が避難生活を送っていることを踏まえ、全国各地で避難者支援活動を行っている NPO やボランティア団体を支援するための基金を設立しました。

期間	寄付金額	寄付月
第1回(H24.9月～12月)	-	-
第2回(H25.1月～4月)	425,555円	平成25年6月
第3回(H25.5月～8月)	129,170円	平成25年10月
年計	554,725円	

引き続き、皆様のご支援をお願いいたします。

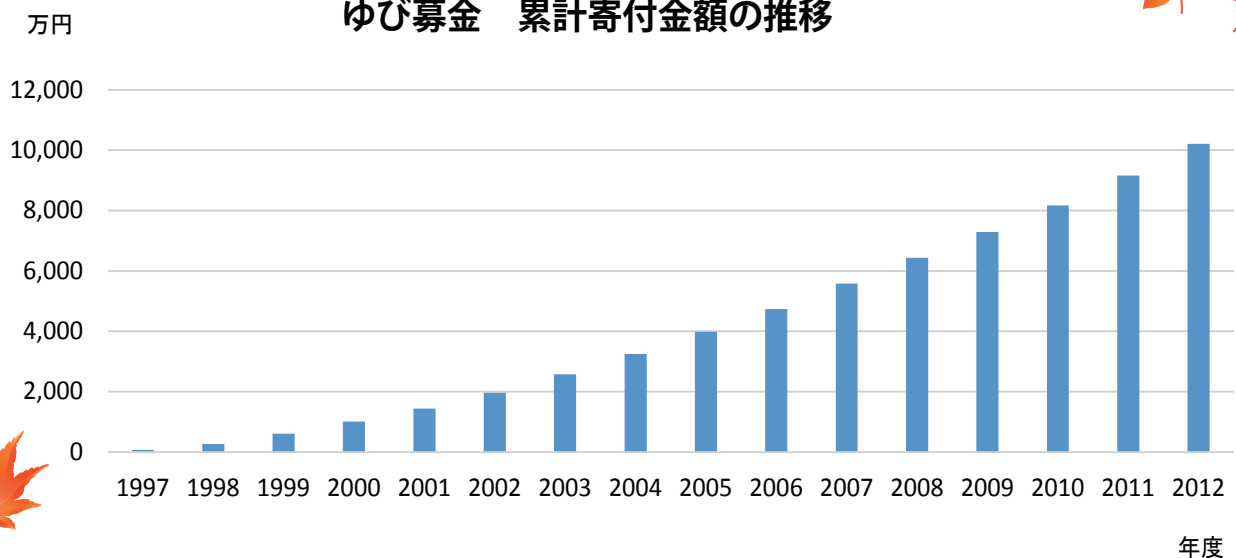
寄付金は、下記の3団体にお送りしています。

- ・山形県 NPO 法人 IVY (アイビー)
- ・東京都 NPO 法人こどもプロジェクト
- ・新潟県 東日本大震災ボランティアバックアップセンター



寄付金額 累計 1 億円を突破しました！

ゆび募金 累計寄付金額の推移



1997 年の協会創立以来の累計寄付金額が 1 億円を超え、**102,094,117 円**となりました。これもひとえに、「ゆび募金」事業に賛同し、ご協力くださった会員の皆様のおかげです。心より御礼申し上げます。引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。

編集後記

2020 年の東京オリンピック・パラリンピック開催が決まりました。7 年後の自分は何をしているだろうと想像された方も多いのではないのでしょうか？東北の復興や原発事故の収束など、今の日本には深刻な問題が山積していますが、7 年後には全てがよい方向に向かっていくことを願っています。

今回の寄付集計で、16 年間の累計寄付金額が 1 億円を突破しました。飲料 1 本につき 2 円という小さな寄付の積み重ねを考えると、とても感慨深いものがあります。

最後になりましたが、今回の会報作成にあたり、ご多忙の中ご協力を賜りましたロケオーナー様、寄付先団体様に心より御礼申し上げます。

(青木)

ゆび募金だより 会報第7号

発行日： 2013 年 10 月 1 日

発行：  特定非営利活動法人ジャパン・カインドネス協会

〒186-0004

東京都国立市中1-18-41 栄ビル301

TEL: 042-571-2233

FAX: 042-571-2263

Eメール: info@jkkyoukai.com

URL: <http://jkkyoukai.com/>